

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年7月27日

施設名	森林研修センター(研修館)	所管課	林業振興・環境部 森づくり推進課
-----	---------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県山村林業振興基金	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80		
事業内容	(1) 研修館の利用の許可等に関する業務 (2) 研修館の利用料金の徴収等に関する業務 (3) 研修館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 研修館の利用の促進に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、研修館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など ・施設規模: 木造1階建(一部2階建)、延べ床面積1,058.25㎡ ・利用時間: 午前8時30分から午後5時15分まで ・休館日: 土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に規定する休日並びに12/29から1/3まで ・主な利用料金: 1時間につき 研修室A 470円(590円)、研修室B 580円(710円)、研修室C 280円(350円)、宿泊室2,830円(3,530円) *()は休館日の料金		
職員体制	常勤職員: 8人 (うち 嘱託職員 3人) 合計: 8人		

2 収支の状況

単位: 千円

		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
収入	県支出金	9,333	8,289	8,368
	使用料・手数料	1,040	1,119	1,250
	その他	214	207	210
	収入計 (a)	10,587	9,615	9,828
支出	事業費	1,822	434	700
	管理運営費	7,221	7,123	7,154
	人件費	1,363	1,790	1,974
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	10,406	9,347	9,828
収支差額 (a) - (b)		181	268	0

3 利用状況

	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	研修室延べ人数:1,948 フィールド:1,077 宿泊延べ人数:395	研修室延べ人数:2,038 フィールド:1,203 宿泊延べ人数:413	研修室延べ人数:3,000 フィールド:1,800 宿泊延べ人数:900
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・時期:令和3年4月～令和4年3月 ・方法:研修修了後、アンケート用紙を配布 ・回答数:233件 ・結果:概ね良好。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 改善提案等について、可能な範囲で研修内容、施設の利便性向上など対策を講じている。		
	○ その他 要望等の意見を職員間で共有し、より効果的な施設管理運営に努めている。		
③その他特記事項	HPをR3年度にリニューアルし、施設および講習の案内等、情報発信している。		

4 令和3年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・施設の設置目的に沿った管理運営が適切に行われており、利用者の利便性及び安全性の向上が図られている。 ・職員が意欲を持って働き続けられるよう、適正な労働条件と快適な職場環境が整備されている。
②利用者サービスの維持向上	・アンケートにより利用者のニーズを的確に把握し施設の管理運営に反映させ、質の高いサービスの提供に努めている。 ・利用者にとってわかりやすく見やすいホームページに改修したほか、施設の案内パンフレットや研修計画の冊子の作成などにより利用者の確保に努めている。 ・定期的に施設の自主点検を行い利用者の安全確保に努め、利用しやすい施設的环境を整えている。 ・新型コロナウイルス感染症への対策として、研修室使用後のアルコール等による消毒を徹底し、安心安全な環境づくりに努めている。
③利用実績	・自主企画研修等を実施して、施設の利用者を増やす努力が見られる。
④収支の状況	・新型コロナウイルス感染症の流行による利用者数の減や研修中止等の影響を受けたものの、概ね安定的かつ効率的な施設の管理運営が行われている。
総合評価	B ・指定管理業務は基本協定書及び仕様書に基づき、概ね適切に実施されている。 ・利用者のニーズの把握に努め、満足度を高めるための配慮がされている。 ・自主企画研修等を実施して利用率の向上に努めているが、さらに利用者を増やすため、新たな自主企画研修等の実施を検討すること。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの